

福井ふるさと元気宣言

住むひと・来るひとの
人生を楽しく豊かに



平成15年から12年間、「元気な福井県づくり」を県政運営の基本として、県民が夢と希望を持てる「新ふるさと構想」の実現に全力を尽くしてまいりました。

特にこの4年間には若狭さとうみハイウェイが完成し、北陸新幹線の工期短縮、中部縦貫道と北陸道が直結開通するなど、高速交通網の整備が大きく前進しました。また、「県民幸福度」と「子どもの幸福」のダブル日本一という輝かしい評価も得ております。これは県民の皆様のご理解とご支援、たゆまぬ努力の賜物であり、福井の元気のあかしでもあります。

今日、東京への一極集中が加速する中、人口の減少に歯止めをかけるため、国もようやく「地方創生」と「一極集中の是正」を第一の政策に掲げるようになりました。

いよいよ地方の力が国を支える時代に入りました。全国に先駆けて「ふるさと政策」を提唱し実行してきたわが福井が、今こそ真価を発揮するときです。3年後の福井国体、5年後の東京オリンピックは、福井が持つ「ふるさと力」を結集し、国内外にアピールするまたとない好機であります。

未来への確かな道筋を示して、住むひと・来るひとの楽しく豊かな人生を実現する「元気あふれる日本一のふるさと」をめざし、一緒に挑戦しましょう。

4つの「元気」と12の政策

1 元気な社会

ふるさと福井の良さと県民の総力を結集して人口減少問題に取り組み、課題解決に挑戦する「先進モデル県」にします。未来の原動力となる「人づくり」に力を注ぐとともに、若者の参加、女性の活躍のための環境を充実させ、地域の医療・福祉、安全・安心、環境分野などの課題に挑戦します。

1 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

- ◆幸福日本一福井へ 移住・定住戦略
移住・定住促進機構、相談から定住まで全面応援
女性・若者「Uターン創業」、県外から希望者を積極的採用
- ◆進学・就職の地元志向にインセンティブ
県内大学「地元枠」拡大、Uターン奨学金の創設
県都中心部に共に学ぶ大学連携センター
- ◆日本一の「結婚・子育て応援社会」
「めいわくありがた縁結び」の徹底展開、「新3人っ子応援プロジェクト」
- ◆若者の熱意と行動力を結集
「地域おこし協力隊」の倍増、伝統行事や祭りの復活・継承
- ◆女性の元気が福井の元気
希望に応える雇用環境、女性グループ・リーダーの多様な活動応援

2 福井から人材育成

- ◆「ふるさと」を思うグローバル人材教育
「ふるさと先生」、「ふるさと教材」、白川文字学の充実
高校入試に英語スピーキング、嶺南にサイエンス・国際コース
- ◆「福井型18年教育」の進化
18歳選挙権で社会に目を、授業・教材刷新プログラム
職業高校共通「学習力指標」
- ◆学校の再編・統合
地域別高校再編計画、小中学校の統合と活用に「地域指針」
- ◆地元大学の役割を拡充
人口減少問題研究、アジア経済と地元産業を研究提言
- ◆産業人材の育成・誘致システム
水産・林業・観光の各分野に人材育成カレッジを拡大

3 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献

- ◆みずから伸ばす「健康寿命」
「運動・栄養・社会参加」を実践する県民運動
ふくい健康の森「利用者倍増プラン」
健康長寿でもうひと働き
- ◆県民の健康サポート・システム
がん予防・登録・治療日本一、目と歯の健康、認知症予防・サポーター
- ◆「温かい福祉県」の実現
介護待機者ゼロを継続・改善、障害者の雇用率・賃金向上、難病対策

4 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）

- ◆「安全・安心ふくい」確立プラン
街角に警察官、凶悪犯罪対策、子ども・女性・高齢者の安全
- ◆あらゆる災害対応を迅速第一
「最初動」即応強化、雪で止まらぬ峠道路、里山・河川の災害対策

5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

- ◆元気な里山里海湖
「ふるさと学びの森」、コウノトリ、年縞「地球10万年の旅 記念館」
- ◆低炭素のまちづくり推進
相乗りデー、電車・バス利用デー、再生可能エネルギー拡大
- ◆まちをきれいにモノを大切に
国体に向け「クリーンアップ総作戦」、ごみ減量、交換と修繕の輪
- ◆景観を県民資産に
伝統的民家・まちなみ保存、沿道の両面標識・広告物の安全と規制

(裏面に続く)

II 元気な産業

世界に誇る優れた技術と恵まれた自然の豊かさを生かし、人材を育てて、福井の工業と農林漁業をさらに活力ある産業に発展させます。“幸福日本一”の福井の良さを広く知ってもらうため、多角的な政策とブランド・観光戦略を展開し、福井にやってくる観光客や移住者を大きく増やします。

6 革新と創造で伸びゆく福井の企業

- ◆福井発の「ローカル産業革命」
サンドームをものづくり拠点に、越前古窯施設
開発から販売まで産学官金協力のイノベーション機構
- ◆つかめ国内外のビジネス・チャンス
国体・五輪ビジネス、アジアとのビジネス・観光の拡大
- ◆地域ビジネスを積極的に応援
小さな企業の元気応援、「夢ある創業」を応援
- ◆県・市町一体の企業誘致
本社機能・研究所誘致を促進、人材確保に着目の企業誘致
- ◆腰すえた地元企業の事業拡張を応援

7 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

- ◆「食料産業」パワーアップ
ポストこしひかり、メガファーム倍増、園芸の集落化
「福井百歳やさい」、6次産業化
- ◆「里山里海湖ビジネス」の新展開
山ぎわの施設園芸・果樹栽培、里山里海湖ツーリズム
あらゆる手段で鳥獣対策、処理・加工施設の整備支援
- ◆「ふくい食ブランド」を地消・外商
地産地消給食、大都市へ新鮮配送システム、県産品売り込み隊
- ◆「もうかる漁業」へ転換加速
一大養殖産地の育成、国・県立大学・民間連携の「新日本海漁業」
- ◆森林を市場に直結
県産材をフル活用、コミュニティ林業、山の市場、木質バイオマス

8 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

- ◆「幸福日本一・福井」の新ブランド戦略
「幸福日本一の秘密」のネット世界発信、大河ドラマ誘致
- ◆「恐竜渓谷100万人構想」の実現
第2恐竜博物館の検討、恐竜学拠点、恐竜ビジネス展開
- ◆観光フロンティア・福井
福井を「観光のフロントエリア」に、アジア観光大使
100万人観光地の創出、新観光の町並みに重点投資
若狭嶺南の観光活性化、高校・大学に観光科目と人材育成

III 元気な県土

整備が大きく進んだ高速交通網は福井の「未来資本」、残る区間の早い完成をめざします。これを生かす新しいまちづくりや産業・観光プロジェクトに着手します。

原子力発電は「安全」が最優先。わが国の原子力・エネルギーの将来展望を基に、福井の実績を生かし厳正かつ慎重に対処。さらに幅広い研究・開発、人材育成・国際支援を進めます。

9 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

- ◆新幹線敦賀開業・中部縦貫道全通プロジェクト
開業に備えアクション計画、沿線まちづくり、奥越に産業・観光拠点
- ◆高速交通ネットワークの完結促進
新幹線、並行在来線、中部縦貫道の整備促進
- ◆道路・港湾の重点整備と利用促進
主要道・県境道、敦賀港2期工事、貿易は営業・助成の両面作戦
- ◆電車・バス・自転車の利活用拡大
福鉄・えち鉄の高機能化、鉄道とバスの「循環交通モデル」

10 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興

- ◆「安全最優先」の原子力行政
責任ある原子力・エネルギー政策、廃炉対策、原子力防災
- ◆嶺南をエネルギー産業の拠点へ
拠点化計画の進展、科学研究・エネルギー関連機関の誘致

IV 元気な県政

県民一人ひとりが親しむスポーツ・文化の力は、「元気な県政」の象徴です。老若男女だれでもいつでも、身近に楽しむことができる環境を充実させます。福井の優位性・可能性を最大限に発揮する「ふるさと政策」を、県民・団体・企業・市町の力を結集して実行します。

11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

- ◆県民総参加の福井国体
国体成功・総合優勝、東京オリンピック事前キャンプ誘致
- ◆「スポーツ福井」の実現
子どもの新スポーツ、部活動の冬場の練習環境を改善
- ◆福井の文化をもっと身近に
文学館と文学賞、出張「音楽堂」、こども歴史文化館の拡充活用
- ◆日本のふるさと・ピースフル福井
一乗谷ミュージアム、「越前和紙」「中世遺跡」を日本・世界遺産へ

12 幸福実感、誇りを生み出す「ふるさと政策」

- ◆「ふるさと福井」に誇りと自信
白川先生「没10年記念事業」、東大と「希望活動ネットワーク」
ふるさと知事ネットワーク、ふるさと納税・企業誘導減税
- ◆市町と共働の「新ふるさと」づくり
ふるさと創造プロジェクト(各市町1億円)、地域の拠点づくり
- ◆時代の先端を行く情報活用(オープンデータ・ビッグデータ)

行財政構造改革

政策推進枠予算として150億円の財源確保

- ◆質の高い政策をめざす県政
新幹線対策など体制強化、出先再編、研究機関の活性化
- ◆県民に「よくわかる県政」の実現
ICTを活用した広報・広聴システム、現場主義の徹底